



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社網屋 上場取引所 東
コード番号 4258 URL <https://www.amiya.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石田 晃太
問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 宮田 昌紀（TEL）03（6822）9999
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,212	21.9	795	117.6	791	109.9	538	101.5
2024年12月期第3四半期	3,455	30.6	365	16.0	377	1.3	267	1.6

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 563百万円（ 83.6%） 2024年12月期第3四半期 306百万円（ 17.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	64.35	62.45
2024年12月期第3四半期	32.44	31.22

（注）当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	6,184	2,509	40.5
2024年12月期	5,415	2,132	39.4

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 2,505百万円 2024年12月期 2,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	15.73	15.73

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,750	20.6	1,000	90.1	995	83.9	680	77.1	81.31

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、2025年12月期の連結業績予想における、1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。なお、株式分割前基準での1株当たり当期純利益は、162.62円となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社ASネットワーク、除外 社 (社名)
クセキュリティ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	8,646,400株	2024年12月期	8,628,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	371,310株	2024年12月期	350,822株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	8,363,032株	2024年12月期 3 Q	8,232,558株

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、金融機関など重要インフラ事業者を対象としたサイバー攻撃が増加し、国家を背景とするサイバー攻撃への対応の重要性が改めて認識されました。

2025年5月には「能動的サイバー防御」に関する関連法が成立し、官民連携によるサイバーセキュリティ対策の強化が求められています。これに伴い、政府主導のセキュリティガイドラインの整備が広がる中、当社の提供するセキュリティ製品・サービスへの需要は引き続き堅調に推移しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比21.9%増の4,212,801千円、営業利益は前年同期比117.6%増の795,413千円、経常利益は前年同期比109.9%増の791,505千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比101.5%増の538,159千円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

データセキュリティ事業

当第3四半期連結累計期間におけるデータセキュリティ事業は、ランサムウェア対策製品「ALog」が製造業を中心にIT、官公庁など幅広い業界からの受注が増加しました。またALogサブスク化以降のサブスク収益の積み上げや高収益のセキュリティサービスの構成比上昇が利益率を押し上げる要因となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比31.2%増の1,789,317千円、売上総利益は前年同期比48.3%増の1,052,898千円、セグメント利益は前年同期比50.1%増の752,747千円となりました。

ネットワークセキュリティ事業

当第3四半期連結累計期間におけるネットワークセキュリティ事業は、インテグレーション事業において一部業界の需要低迷の影響を受けた一方で、サブスクモデルであるNetwork All Cloudが順調に拡大し、全体として収益性の改善につながりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比15.9%増の2,423,483千円、売上総利益は前年同期比41.4%増の988,409千円、セグメント利益は前年同期比48.6%増の698,226千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,184,809千円となりました。前連結会計年度末と比較して769,568千円増加しました。これは主に、取扱い案件の増加による業績好調の結果、現金及び預金が392,372千円増加、売掛金が127,124千円増加及びその他流動資産が104,557千円増加したこと等によるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,675,711千円となりました。前連結会計年度末と比較して392,536千円増加しました。これは主に、ALogソフトウェアの販売体系をサブスクリプションモデルに変更したことにより契約負債が431,499千円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は2,509,098千円となりました。前連結会計年度末と比較して377,032千円増加しました。これは主に、利益剰余金が536,762千円、資本剰余金が142,484千円及びその他有価証券差額金が25,055千円増加した一方で、自己株式が買付により331,570千円減少したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年7月30日付「2025年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を2025年11月10日付の適時開示であります「2025年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして、以下のとおり上方修正いたしました。

1. 2025年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,750	百万円 780	百万円 770	百万円 530	円 銭 64.58
今回修正予想（B）	5,750	1,000	995	680	81.31
増減額（B－A）	0	220	225	150	—
増減率（％）	0%	28.2%	29.2%	28.3%	—
（参考）前期実績 （2024年12月期）	4,767	526	541	384	46.69

（注）当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

粗利益率の低いネットワークインテグレーションの売上が減少し、一方で「ALog」並びに「Network All Cloud」等、サブスクモデルの高収益事業が好調に推移したことにより、売上計画は予定どおりながらも、営業利益率が想定を上回ったことにより、2025年7月30日に「2025年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」（上方修正）を公表いたしました。その後、引き続きネットワークインテグレーションは低調に推移したものの、収益性の高いセキュリティサービスの販売が順調に伸長し、利益率が向上したため、2025年12月期の通期連結業績予想を再度上方修正するものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,579,003	3,971,375
売掛金	414,301	541,425
仕掛品	87,215	111,029
原材料及び貯蔵品	362,077	423,206
その他	254,444	359,001
流動資産合計	4,697,042	5,406,039
固定資産		
有形固定資産	101,461	88,060
無形固定資産		
のれん	48,405	90,475
ソフトウェア	99,477	64,466
その他	3,143	24,022
無形固定資産合計	151,026	178,964
投資その他の資産		
投資有価証券	277,623	315,927
その他	188,086	195,818
投資その他の資産合計	465,709	511,746
固定資産合計	718,197	778,770
資産合計	5,415,240	6,184,809

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,335	133,175
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	152,692	153,832
未払金	58,308	81,383
未払法人税等	131,995	158,012
契約負債	1,490,172	1,921,672
賞与引当金	38,530	32,600
役員業績連動報酬引当金	22,040	11,997
従業員業績連動報酬引当金	11,600	7,497
その他の引当金	—	5,247
その他	235,912	239,848
流動負債合計	2,961,587	3,445,265
固定負債		
長期借入金	213,856	113,855
長期末払金	46,200	38,400
退職給付に係る負債	61,531	67,007
その他の引当金	—	11,183
固定負債合計	321,587	230,445
負債合計	3,283,174	3,675,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,142	62,472
資本剰余金	740,408	882,892
利益剰余金	1,564,685	2,101,447
自己株式	△251,658	△583,228
株主資本合計	2,115,577	2,463,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,488	41,543
その他の包括利益累計額合計	16,488	41,543
非支配株主持分	—	3,969
純資産合計	2,132,066	2,509,098
負債純資産合計	5,415,240	6,184,809

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（第3四半期連結累計期間）

	（単位：千円）	
	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
売上高	3,455,368	4,212,801
売上原価	2,046,082	2,171,493
売上総利益	1,409,286	2,041,307
販売費及び一般管理費	1,043,664	1,245,894
営業利益	365,621	795,413
営業外収益		
受取利息	244	4,874
受取配当金	880	700
保険解約返戻金	15,298	1,401
助成金収入	143	134
受取手数料	307	3,919
その他	2,829	606
営業外収益合計	19,704	11,636
営業外費用		
支払利息	5,040	8,470
為替差損	2,535	2,159
自己株式取得費用	644	4,645
その他	26	268
営業外費用合計	8,247	15,544
経常利益	377,078	791,505
特別損失		
固定資産除却損	42	561
その他	—	17
特別損失合計	42	579
税金等調整前四半期純利益	377,035	790,926
法人税等	110,015	252,767
四半期純利益	267,020	538,159
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	267,020	538,159

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	267,020	538,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,779	25,054
その他の包括利益合計	39,779	25,054
四半期包括利益	306,800	563,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,800	563,213
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1 配当に関する事項

当社は、2025年11月10日付の適時開示であります「配当方針及び配当予想の修正に関するお知らせ」におきまして、下記のとおり配当方針の変更及び配当予想の修正を行いました。

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	15.73	15.73
当期実績	0.00	—	—
前期実績	0.00	0.00	0.00

（注）上記の配当予想は、当社が現在入手している情報に基づき算定したものであります。実際の配当金は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

なお、本件は、2026年3月開催予定の当社第30回定時株主総会に付議する予定です。

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2025年6月2日付で、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社（現：NTTドコモビジネス株式会社）から当社普通株式の自己株式処分による第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が142,484千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が882,892千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	434,201	1,020,526	1,454,728	—	1,454,728
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	930,126	1,070,513	2,000,640	—	2,000,640
顧客との契約から生じる収益	1,364,327	2,091,040	3,455,368	—	3,455,368
外部顧客への売上高	1,364,327	2,091,040	3,455,368	—	3,455,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,919	—	24,919	△24,919	—
計	1,389,247	2,091,040	3,480,287	△24,919	3,455,368
セグメント利益	501,589	469,794	971,383	△605,761	365,621

（注） 1. セグメント利益の調整額△605,761千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	491,465	1,165,762	1,657,227	—	1,657,227
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	1,297,852	1,257,721	2,555,573	—	2,555,573
顧客との契約から生じる収益	1,789,317	2,423,483	4,212,801	—	4,212,801
外部顧客への売上高	1,789,317	2,423,483	4,212,801	—	4,212,801
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,800	—	35,800	△35,800	—
計	1,825,118	2,423,483	4,248,601	△35,800	4,212,801
セグメント利益	752,747	698,226	1,450,973	△655,560	795,413

（注） 1. セグメント利益の調整額△655,560千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	85,376千円	65,223千円
のれんの償却額	6,050千円	6,050